

群馬大学大学院理工学府環境創生部門 教員公募（女性限定）

1. 職 名 准教授又は講師
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 大学院理工学府 環境創生部門
(理工学部 物質・環境類 土木環境プログラム)
4. 業務内容 研 究
 - ・土木計画学関連分野（交通計画、都市計画、防災計画等）の研究
 - ・持続可能社会実現に資する実践的研究
 - ・次世代モビリティ社会実装研究センターおよび広域首都圏防災研究センターが推進する産官学連携プロジェクト 等教 育
 - ・大学院・学部学生に対する教育・研究指導
 - ・担当授業科目
(学部) 学びのリテラシー(1)、地域の安全と環境、土木計画学、土木計画学演習、交通・都市開発工学、防災計画、測量学実習、課題発見セミナー、課題解決セミナー 等
(大学院) 交通・都市開発工学特論、災害社会工学、理工学特別演習、理工学特別実験 等
 - その他、専門分野に関する教養教育科目を担当管理運営・社会貢献
 - ・理工学府の管理運営に関する業務
 - ・理工学府、次世代モビリティ社会実装研究センター、広域首都圏防災研究センターが進める（社会貢献活動）への参画・協力
5. 勤 務 地 桐生市天神町 1-5-1 桐生キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和5年1月1日(以降のなるべく早い時期)
8. 専門分野 大分類：工学、複合領域
小分類：土木工学、社会・安全システム科学
9. 任 期 5 年

任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は任期の定めのない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。

10. 応募資格 次のいずれも満たす者
- (1) 博士の学位を有する女性の方
 - (2) 土木計画学分野（交通計画、都市計画、防災計画等）における優れた研究業績を有し、熱意と意欲を持って学生の教育と研究指導ができる方
 - (3) 社会貢献業務、学部運営業務等に積極的に関われる方
11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり
本学教職員就業規則及び 2 号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
教職員就業規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
2 号年俸制適用教員給与規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf
12. 就業時間 8：30～17：15 を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
(1 日 7 時間 45 分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6 か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙（ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置）
17. 応募締切 令和 4 年 1 0 月 3 1 日必着（R4. 4. 13 延長しました）
18. 提出書類 (1) 教員個人調書（本学所定様式）
(2) 教育研究業績書（本学所定様式）
(3) 科学研究費補助金等の受給状況（本学所定様式）
(4) 主要論文 5 編程度の別刷りまたはコピー

- (5) これまでの研究概要 (2,000 字程度)
- (6) 教育、研究についての抱負 (2,000 字程度)

19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目 5-1
群馬大学理工学府環境創生部門 小澤 満津雄
簡易書留にて「環境創生部門土木計画分野教員応募書類」と朱書きのうえ、
郵送願います。
なお、提出書類は原則として返却いたしません。
20. 選考内容 書類選考の上、合格者に対し面接（※必要に応じてプレゼンテーションや模
擬授業を記載する）を実施
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担
21. 問い合わせ先 群馬大学理工学府環境創生部門 小澤 満津雄
電話:0277-30-1613
e-mail:ozawa@gunma-u.ac.jp
22. そ の 他
- (1) 応募書類に記載された個人情報、本選考以外の目的には使用しません。
 - (2) 群馬大学は男女共同参画を推進しており、本公募では「男女雇用機会均等法」第 8 条の規定（女性労働者に係る措置に関する特例）に則り、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を実施します。なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。
(リンク先: http://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_links/)
 - (3) 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。